



次期開催地あいさつ

福井市長 酒井 哲夫



皆さん、こんにちは。ただ今ご紹介いただきました次期開催地の福井市長酒井でございます。福井市は平成10年3月に男女共同参画都市を宣言し皆様の仲間入りをさせていただき、5周年になる来年、サミットを開催させていただきます。今日は内閣府、そして杉並区の主催によってこのように素晴らしいサミットが開催され成功裏に終わられましたことを心からお喜び申し上げます。

今ほど、今年区政70周年という非常にめでたい年輪を刻まれた杉並区の山田区長から男女共同参画に向けての素晴らしい取り組みを、また他のパネリストの皆様からもそれぞれの市における立派な活動についてお聞きし、大変参考になりました。本日、女性の地位向上と男女共同参画を推進するべく結成された「男女共同参画ネットワーク」のメンバーを中心に、男性2人を含めた市民代表の皆さんと大変良い勉強をさせていただいたところでございます。

先程、富山市長が「福井市長、あんたも家庭に帰ったら、少し茶碗洗いもしなさいよ」とおっしゃいましたが、家庭と地域、職場のどれが先とも言えませんが、これまでの日本社会の中で男女の役割分担が強いられてきたのは否定できないことであります。

福井市においては、平成元年を「福井女性元年」と位置付けて以来、さまざまな取り組みを行って参りましたが、平成6年に私が市長に就任する際に市民参加、運動会型の市政を展開するといったところ、男女共同参画社会の実現の必要性を本日参加の市民の皆様方がどんどん提言されました。それを受けて、当時約10%であった委員会、審議委員会の登用率を「21世紀には30%」という目標を立て、1年で1%上げるというのは至難の技でありましたけれども、21世紀の初めである2001年にちょうど30%に到達致しました。これからも40%、50%を目標に取り組んでいくつもりですが、先ほどの各市長さんからの非常に立派な報告を聞くと、私どもも、もう少し高い目標を持っておくべきだと思いますが、地道に一つ一つを確実に取り組む所存でございます。

ところで、せっかくの機会ですので、福井市のPRを若干させていただきます。実は、2002年の東洋経済という民間の調査で、平成4年から「全国住みやすさランキング」で全国675都市のうち福井市が一番選ばれました。福井市は、富山市と同様空襲で破滅的に打撃をうけ、もう立ち上がれないだろうと思われていた中で、大きなハンディーキャップを背負いながらも男女が力を合わせて頑張ってきた成果が、現在の住み良さ第1位ということになったわけでございます。

しかしながら、先般の国勢調査で福井市の人口は減少しており、これからの21世紀は、住みやすさではなく、男女共同参画社会の実現を含めた住みたくなる福井、住んでみたい福井を創らなければと考えております。

さて、11月6日は福井で有名な越前ガニの解禁日でございます。来年の11月14日のサミットにはちょうど食べごろでございます。特にセイコガニがおいしいですので、来年は是非福井市にお越しください。福井市民をあげて歓迎いたします。最後になりましたが、杉並区長をはじめ、パネリストの市長の皆様どうもありがとうございました。会場の皆様、是非来年福井にどうぞお越し下さい。お待ちしております。

次期開催地あいさつ

新居浜市助役 片上 孝光



皆様、こんにちは。次期開催地の愛媛県新居浜市からまいりました片上でございます。一言、ごあいさつを申し上げます。

いろいろなことを福井市市長さんが言って下さいましたので、私はもうあまり言うことがありませんが、少し新居浜市のPRだけでもさせていただかないと、このまま新居浜市に帰れませんので、ちょっと宣伝をさせていただければと思います。

新居浜市は、元禄4年でございますが1691年、別子銅山の開坑によりまして開けた町でございます。昭和48年、1973年の閉山までの間、283年間住友によって経営され、今日の四国有数の工業都市になってまいったわけでございます。産業遺産として、現在「マイントピア別子」がございまして、平成3年に開設したわけでございますが、現在までに約500万人、利用していただいております。温泉施設、鉱山鉄道、観光坑道、砂金取りなどで、おいでいただける観光客の方々に非常に喜ばれております。

中でも、私が今、はっぴを着させていただいておりますが、新居浜市民が一番誇りにしておりますのが、四国三大祭りでございます新居浜太鼓祭りでございます。これにつきましては300年の歴史がございまして、10月の16、17、18の3日間、約2トンございます太鼓台を一日中、新居浜の言葉で言うと、「かきまわる」ということになるんですが、かきくらべなどをしながら3日間を練り歩きます。

ついで、一番また喜ばれることに、瀬戸内海のお土産物。これは福井市長さんもいろいろ今おっしゃっていたのですが、新居浜市も負けないお土産物がございまして、ぜひとも新居浜市においていただくことをお願い申し上げます。皆様をお待ちしております。

もう一つ、四国には、四国八十八カ寺がございまして、この四国八十八カ寺の精神であります「お接待」、もてなしの心。これでもって皆さんをお迎えしたいと思います。ぜひ、おいでくださいますよう、よろしく願いいたします。



閉会式

すぎなみサミット実行委員会委員長 金平 輝子



皆様の大きな拍手でサミットの共同宣言も採択されました。只今は、本当に行ってみたくなるような福井と新居浜からの熱烈なうんでしょうか、次回の開催地のごあいさつもございました。実は、私、袖のところで聞いておまして、やはり男女共同参画都市宣言をなさった6人の首長さん、市長さんたちがおそろいになりますと、さすがに壮観でございます。そして、お話を伺っておまして、ああ、こういう市長さんがあったればこそ、またこういう市長さんを支える市民の方があったればこそ、共同参画宣言がなされたというふうに思いました。

そして、男女共同参画都市というのは、何か私たち遠い将来のことのように思いますが、お話を伺っていると、今日お話の中で10年という具体的な数字も出てまいりまして、たいへん現実味を帯びてまいりました。やはり、私たちのこういう努力、一つ一つの努力というものが、状況を一つ一つ変えていく。そして、男女共同参画社会、実現は可能である。そういうふうな気持ちがありました。

冒頭、ごあいさつの中で、最後までお付き合いをよろしくと申し上げましたけれども、お付き合いいただきまして、ありがとうございました。実は本日、今ちょっと飛行機の関係でお帰りになった方もございますけれども、本当に全国から1000人を超える方たちが、ここ杉並にお集まりくださいました。ご参加いただきました皆様、本当にありがとうございました。終わりにになりましたけれども、市長さんたち、本当にありがとうございました。

実は、杉並区では、このサミットに合わせましてと申しますか、記念事業を計画いたしました。昨日2日から5日土曜日まででございます。ちょっと建物は、この建物ではないんでございますけれども、セシオン杉並、職員にお聞きくださると場所が分かりますが、そこで記念事業をしております。様々な取り組みを杉並の区民たちが用意して、男女共同参画ということを考えるチャンスにしようとしております。お時間のある限り、どうぞ皆様方、そちらのほうにもお立ち寄りいただきますと、私ども杉並区民、また一段と男女共同参画社会に向けての心意気が奮い立つのでございます。

本当に今日は、最後までご協力いただきまして、まことにありがとうございました。これをもって、すべてのサミット会議を終わらせていただきます。ありがとうございました。